



気候変動に具体的な対策を

節電に努めよう

電力会社の
節電プログラムに
参加するの
もいいですね!



私たち人間の活動によって、大量の温室効果ガスが大気中に放出され、生態系や人間社会に大きな影響を及ぼしています。温室効果ガスの代表的なものは二酸化炭素です。二酸化炭素の排出量を減らすには、石炭、石油、天然ガス等の化石燃料の消費を減らす必要があります。家庭から排出される二酸化炭素のうち、電気が5割を占めることから、電気の使い方を見直すことが重要です。エアコンの設定温度を適切にする、家電のコンセントをこまめに抜くなど、節電を心がけましょう。

家族が同じ部屋で団らんすると、
エネルギー消費量が2割削減!

ほかにも…

- 冷蔵庫に食材をつめこみすぎない
- 必要のない照明はこまめに消す
- ポットやジャーの保温を控える

などがあります!



エコ モビリティ ライフに取り組もう

徒歩動かすことで
健康や快適さにも
つながります。



自動車は非常に便利で、私たちの生活に欠かせない乗り物ですが、日本の二酸化炭素排出量のうち、運輸部門からの排出量は2割で、そのうち自動車からの排出が9割を占めています。自動車による環境負荷を減らすため、私たち一人ひとりが普段から利用している移動手段を見つめ直して、自動車と公共交通、自転車、徒歩などを賢く使い分ける「エコ モビリティ ライフ」に取り組むことが必要です。

電車やバスなどの公共交通機関を利用する、近い距離は自転車や徒歩で移動する、自動車を利用する時はエコドライブを心がけるなど、毎日の通勤や通学、買い物などのちょっとした外出方法を見直してみましょう。

エコドライブの10のすすめ

- ふんわりアクセル「eスタート」
- 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- 減速時は早めにアクセルを離そう
- エアコンの使用は適切に
- ムダなアイドリングはやめよう
- 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 不要な荷物はおろそう
- 走行の妨げとなる駐車はやめよう
- 自分の燃費を把握しよう

TOPICS 地球温暖化に対する緩和策と適応策

地球温暖化に対する取組には、大気中の温室効果ガスの排出を削減し、地球温暖化の進行を抑制するための「緩和策」と、気候変動により既に現れている影響や中長期的に避けられない影響に対して、被害を回避・軽減するための「適応策」があります。節電や「エコ モビリティ ライフ」は緩和策の取組です。一方、適応策としては、熱中症予防、農作物の高温障害対策、治水対策、渇水対策等があります。

その他の取組

- 省エネ製品に切り替えよう → ゴール7
- クールビズ・ウォームビズに取り組もう
- ガスの節約に努めよう
- 再配達にならないよう宅配便を1回で受け取ろう
- 緑のカーテンづくりに取り組もう
- 熱中症対策を心がけよう

半田市立乙川東小学校校務主任 永田 貴郎さん

環境教育の一環でグリーンカーテンに取り組んでいます。2022年度はヘチマとゴーヤとアサガオを植えました。この3種はとても育てやすく、特にゴーヤは収穫もできるので、楽しみながら育てることができます。夏にはつるが2階まで伸びて、天然のカーテンができました。グリーンカーテンがある部屋とない部屋の室温を測ったところ、1~2度の差がありました。また、グリーンカーテンがある部屋は直射日光が当たらないので、無駄に冷房の温度を下げずに過ごすことができます。育ててみたい植物や、観察で使う植物、食べられる植物など、とっつきやすい植物で取り組んでみたいと思います。

